

法遍寺 から大切な 皆様へ

2024年9月1日

日蓮正宗 年間方針

折伏前進の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

講中一結・万難を排して

折伏実践

年間実践テーマ

① 勤行・唱題で歡喜の活動

根本を欠かさず家族

そろって弛まず実践

② 講中一結して折伏実践

「異体同心」・「師弟相對」

の信心で

広宣流布に邁進

③ 支部総登山と寺院参詣

で人材育成

死身弘法の決意と歡喜

の生活・切磋琢磨

しながら家庭訪問

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(電話番号：0561-54-9226)

相談無料 <https://hohenji.net/>

2024年8月15日 孟蘭盆会法要の様子



慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について 住職 近藤道正

法遍寺は、静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日頭上人が開基となって、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人様の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

① 講中のみなさまへ「仏の秘密神通力は御本尊にあり」

いつの時代にも民衆をたぼらかして迷惑せしむる宗教屋はあとを絶たない。大聖人は、「法の邪正や高下を判断するには、表面に表われる不思議さや奇怪さにとらわれてはならない」(御書393 趣旨)と仰せになった。超能力(通力)などの不思議は人を惑わす根源なるゆえ、これに捕らわれぬよう教示されたのである。寿命品には「如来の秘密神通の力」と説かれる。これは仏の持つ真の通力のことで、罪業の深い我ら衆生をひいきなく幸福に導く、仏のみが持つ究極の功德力を用いのである。仏法では五神通・六神通などの通力が説かれる。現実に通力や超能力を持つ者の存在は、けして否定はしない。しかしそれは宗教となり得ない。その能力を売り物にし人の煩惱を操り弄ぶ人師を信じ、その通力に頼り、悩みを解決しようとする行為が誤った信仰となるのである。ここに不幸の那落がある。まず今の自身を受け入れ、真の仏である御本尊を信じ、南無妙法蓮華経と一心に唱えれば即身成仏の功德を得る。これが真実の如来の秘密、神通の力であることを確信しよう。

② 正しい信仰を求めている方へ「四苦八苦は幸福の源泉となる」

人は大変な思いをした時など「四苦八苦した」と口にする。この言葉は仏教に説く人生観を元とし、本来の意味は、誰もが直面し避けることのできない苦悩を分析したものである。四苦とは「生苦・老苦・病苦・死苦」であり、「生苦」とは懐妊から出産にいたる胎児としてうける苦しみ。「老苦」とは出生から老人にいたるまで老衰にむかう苦悩。「病苦」とは心身の病からうける苦悩。「死苦」は死の瞬間にいたる苦しみをいう。次の四苦は、「愛別離苦(あいべつりく)」愛する者と離別する苦しみ。「怨憎会苦(おんぞうえく)」怨み憎む者と会う苦しみ。「求不得苦(ぐふとつく)」求めても得られない苦しみ。「五陰盛苦(ごおんじょうく)」肉体と精神に盛られていく苦悩であり、合わせて八苦という。仏法では人の苦悩と生きる世間が一体の因果の中にあると説く。自分が変われば生きる世界が変わるのである。日蓮大聖人の仏道に心身をおき、人生の苦悩に真っ正面から向き合うことが大切である。四苦八苦はこの信仰によって幸福の源泉として姿を変えるのである。